

後輩に繋いだバトン

それぞれの思いで迎えた3年間の集大成

バドミントン

女子団体ベスト8

自分たちを超えてほしい

団体戦で女子・ベスト8、男子は一回戦敗退となったバドミントン部。

女子主将の佐藤みなみさん(三一六)は「目標としていたベスト4にはとどかなかったが、一人ひとりが全力を出し切って楽しめた」と試合について話す。

また、チームメイトに「最後にはチームが一つになれて良かった。今まで支えてくれてありがとう」と感謝の気持ちを述べた。

男子主将の西井健人さん(三一三)は「今までの活動を振り返り「あつ」という間



1打に思いを込める(バドミントン)

に時間が過ぎ、思い返してみると、もつとできることがあった」と話してくれた。後輩たちへは「自分たちを超えてほしい」。顧問へ

力を出し切った

後輩に期待

男女ともに惜しくも一回戦敗退という結果になったバスケ部。

男子主将の松尾祥平さん(三一三)は「残念な結果

剣道

「限界をつくるな」

先生に感謝

剣道部は男子が一回戦、女子が2回戦で惜敗した。主将の繁里朗さん(三一三)は「顧問の神崎先生の『自分で限界をつくるな』

卓球

これからは受験部

できる限りのことをした

卓球部は団体・女子ベスト16、男子一回戦敗退という結果となった。

男子主将の下岡聖さん(三一三)は「試合について結果が残せず残念だったが、自分たちにできる限りのことをやったので、悔い



目指すはゴール(バスケ)



相手の隙を突く(剣道)



鍛えた技で競う(卓球)



一瞬で決める(空手道)

空手道

団結して戦う

練習の成果が出せた

「皆で一丸となって最後まで全力を出して戦った。悔いは残ったが良かったと思う」そう話してくれたのは、空手道部主将の大塚航平さん(三一四)だ。

県総体の感想を「3年生はこれまでの部活動の総まとめとして臨んだ。その結果、部活動で学んできたことの成果が出せたと思う」と語ってくれた。

(記事・松下 秀之)

サッカー

大切な仲間

毎日を全力で

主将の岩崎皓太郎さん(三一三)は「3年間プレーしてきた部員とサッカーをして、仲間の大切さを知ることができた」と話す。また、後輩に「1日を大切に、最後の試合で後悔しないほしい」と語った。(記事・木嶋 紗和子)



シュートを放つ(サッカー)

ラグビー

男気を得る

皆で頑張った

ラグビー部はベスト8という結果となった。

副主将の五島遼太郎さん(三一三)は「部活動では『男気』を得た。辛い時もあったが、皆よく頑張った」と3年間の振り返りを述べた。(記事・野村 香菜)



力をぶつけ合う(ラグビー)